

高石市国民健康保険データヘルス計画（第3期）に基づく保健事業について

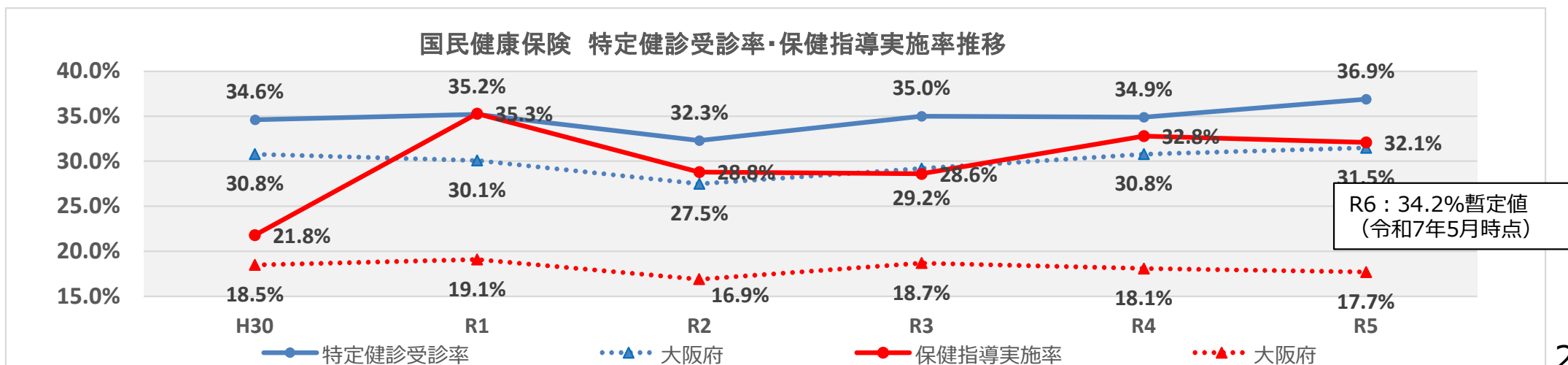
1. 令和6年度事業報告

- ①特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上
- ②生活習慣病の重症化予防
- ③フレイル予防
- ④PHRを利活用した保健事業
- ⑤その他の事業

2. 令和7年度実施計画について

1.令和6年度事業報告 ①特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上

実施事業		取組内容	結果
特定健康診査	未受診者勧奨	ハガキ・SMSによる勧奨通知	ハガキ：5,960件 SMS通知：1,588件
	受診者へのインセンティブ	特定健診受診者に健幸ポイント付与	
	若年者特定健診	・35歳～39歳の被保険者に対して特定 健診を実施	受診率：17%
		・企業と連携した健康教育（健診JAM2回/年）	参加者：約400名 健診受診者：224名
特定保健指導	未利用者勧奨	電話にて専門職による利用勧奨	
	Web型・店舗型保健指導	・スマートフォンを利用したオンライン面接による保健指導 ・調剤店舗を利用した保健指導	



1.令和6年度事業報告 ②生活習慣病の重症化予防

○ 糖尿病性腎症重症化予防指導プログラム

- ・糖尿病治療中で、糖尿病の合併症のひとつである糖尿病性腎症の方を、レセプトと特定健診データから抽出し
かかりつけ医の指示のもと、食事、運動などの生活改善に関する支援を6か月間実施。

平成25年度から令和6年度まで117名が参加。終了者は110名（対象者数2,157名）

令和6年度参加者2名（対象者229名）

支援終了者*から人工透析移行者は0名（透析移行阻止率100%）*国保資格有りの追跡分析より

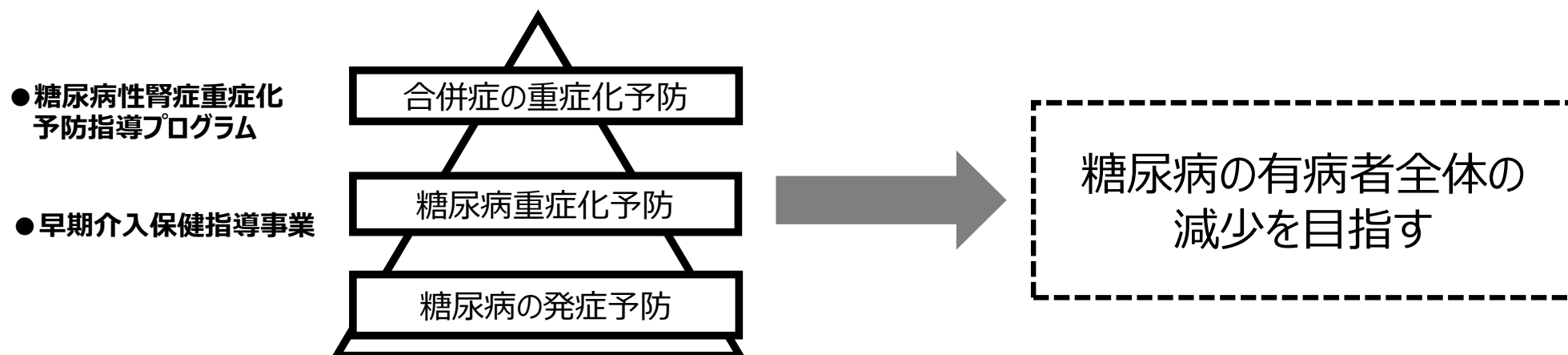
○ 早期介入保健指導事業

- ・メタボリックシンドロームのリスク者、高血圧者、喫煙者への保健指導を実施。（特定健診当日実施）

令和6年度事業参加人数：68名

（内訳）

- ・メタボリックシンドロームのリスク者：53名
- ・高血圧：14名
- ・喫煙者：1名

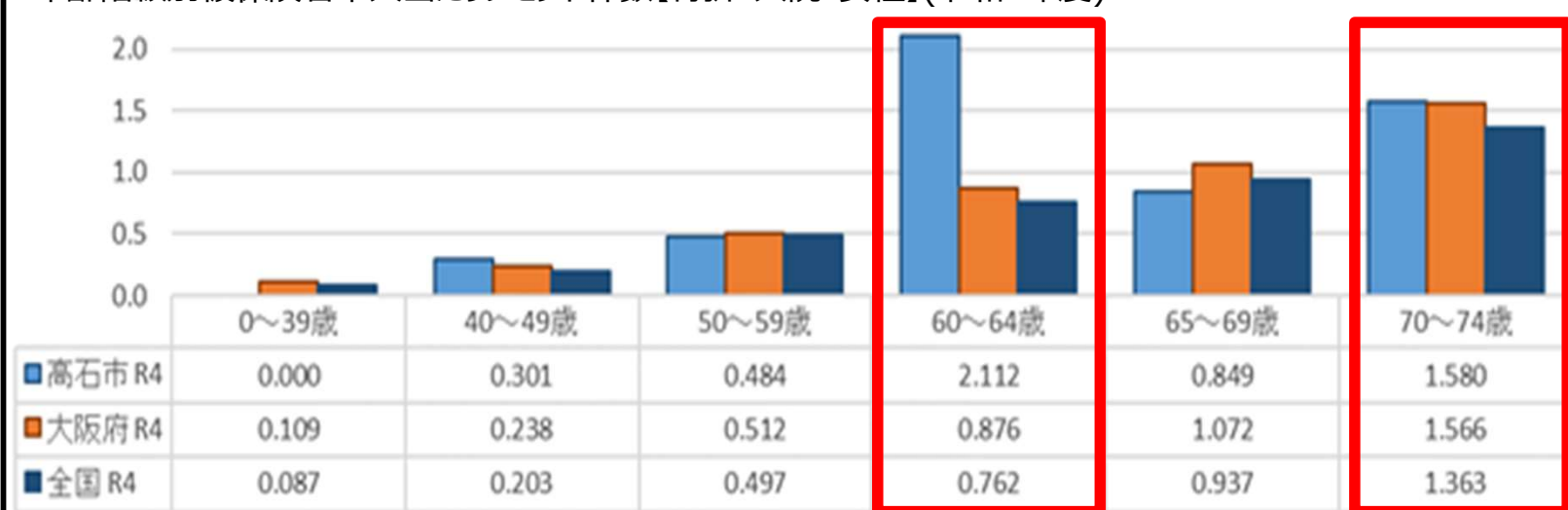


1.令和6年度事業報告 ③フレイル予防

○ フレイル（骨折・骨粗しょう症）重症化予防事業

・治療中断者や大腿骨近位部骨折既往者に対し、主治医又は整形外科医の指示のもとで、対象者が必要な治療を受けながら、生活習慣の見直しなど行動変容が図れるよう保健指導を実施。

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数【骨折・入院・女性】(令和4年度)

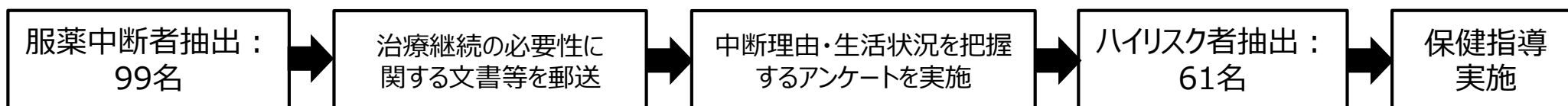


出典：KDBシステム 疾病別医療費分析(生活習慣病)

◇フレイルとは？

「（加齢に伴い）筋力や心身の活動が低下した状態」で、進行すると要介護に移行しやすくなる。身体的フレイルの原因のうち、骨折・骨粗しょう症については、骨粗しょう症の服薬継続や医師の生活習慣の指示を遵守することで、再骨折や骨粗しょう症の進行による要介護状態への移行を予防できる可能性が高い。

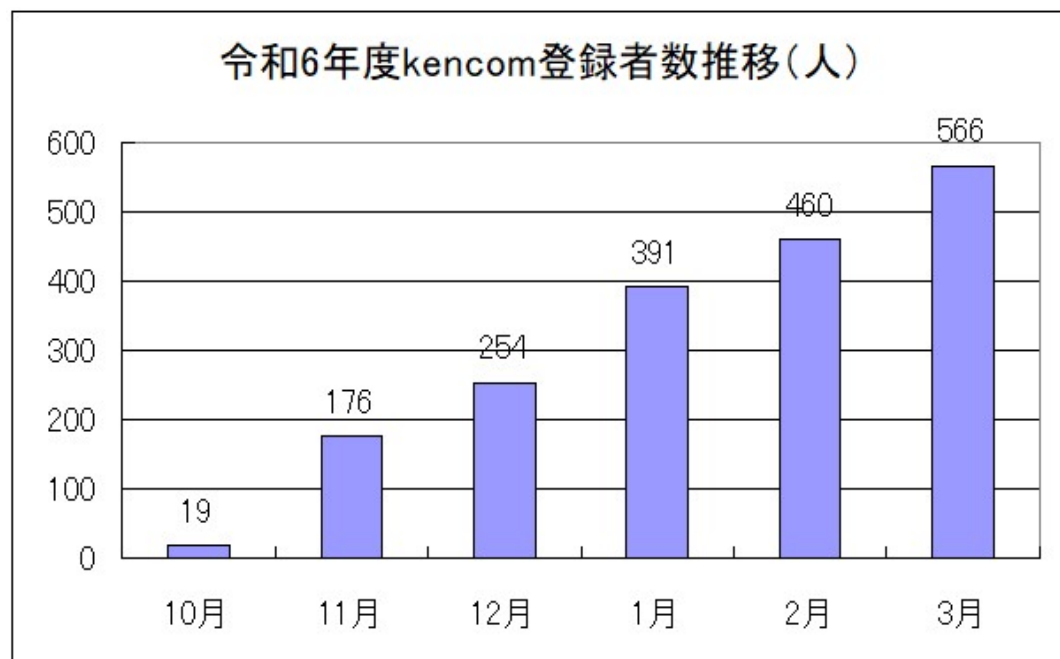
業務フローおよび業務実績



・対象者のうち再骨折の方：0名
・対象者のうち整形外科受診が確認できた方：15名

1.令和6年度事業報告 ④健康アプリ

【累計登録者数】



【主な取り組み】

	アプリ	広報活動
10月	リリース開始	チラシ等の作成・配布
11月		健幸イベントでの登録会実施
12月		特定健診会場での登録会実施
1月		特定健診会場での登録会実施
2月		特定健診会場での登録会実施
3月		健幸イベントでの登録会実施

【登録会の様子】



【事業内容】

- ・スマートフォンアプリ「kencom」を用いて健康づくりを推進する取り組み

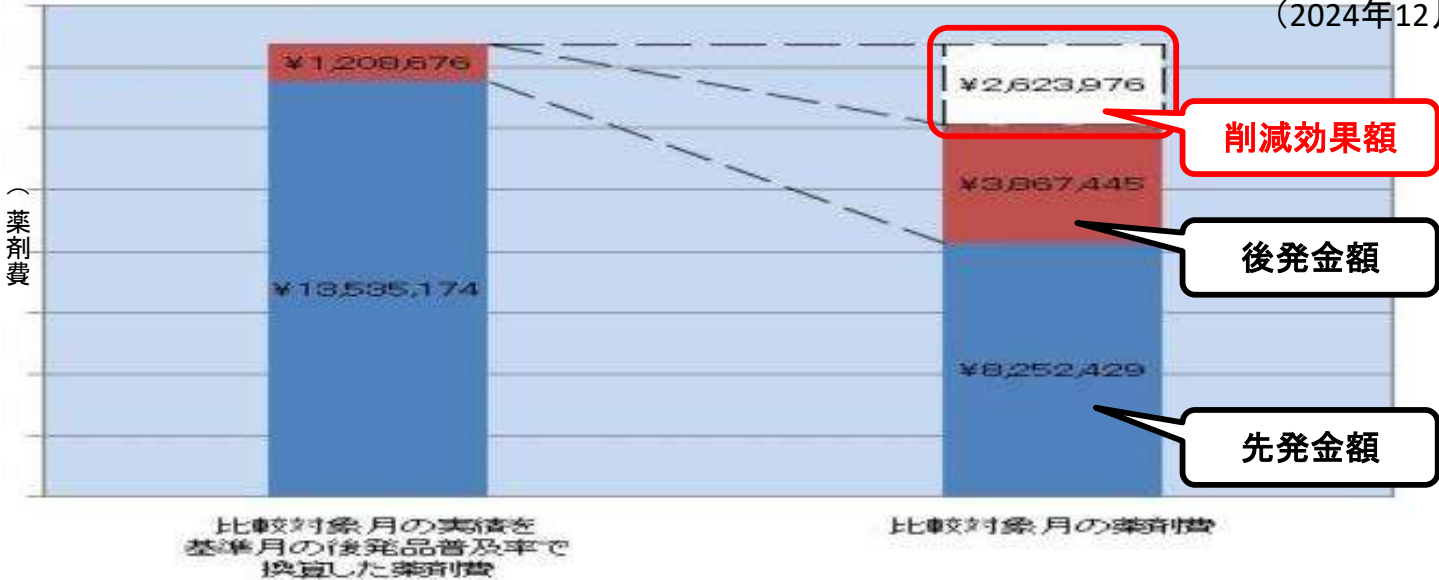
【アプリの主たる機能】

- ・アプリ上での検診結果の閲覧と確認
- ・健康検査値に基づく疾病罹患シミュレーション
- ・健康づくりに役立つ記事の配信
- ・日々の歩数や体重等PHRデータの記録と活用
- ・健康行動に応じたインセンティブ付与 等

1.令和6年度事業報告 ⑤その他の事業

I 後発医薬品普及事業

- ・ジェネリック医薬品差額通知カードの配布（年1回 全世帯）
 - ・ジェネリック医薬品を利用した場合の差額通知の実施（年4回 通知のべ件数1,571件）
- （2024年12月時点）



実績

後発品普及率：82.7%
削減効果額：2,623,976円
比較対象月：2024 年12月診療確認分

II 適正服薬支援事業

- ・重複多剤服薬(複数の医療機関を受診・6種類以上の処方がある) している60歳以上の被保険者へ、かかりつけ薬剤師 に薬の相談や調整を促す通知を実施:386通
- 上記通知者のうち、服薬数が多いまた飲み合わせなどに高いリスクの可能性のある37名に看護師から電話保健指導実施。

No	該当の 発送年月	効果確認月 診療期間※1	通知者数 累計 (実人数)	効果測定 対象者※2	割合	削減効果額	累計 削減効果額	改善人数			
								医薬品 種類数 (削減人数)	重複服薬	相互作用 (禁忌)	慎重投与
1	2024年9月	2024年9月 ～ 2024年12月	386	344	89.1%	630,218	630,218	93	42	4	20
								344	61	6	213

※ 1 効果確認月は、長期処方を考慮して基準診療年月(効果確認月の最終月) から最大で過去4カ月のデータを参照している。
※ 2 基準診療年月 (効果確認月の最終月) にレセプトがあった人を効果測定対象者とする。

2.令和7年度の実施計画について

事業実施	取組事業
①特定健診受診率及び 特定保健指導実施率の向上	・特定健康診査の受診率向上事業 ・特定保健指導未利用者対策事業 ・若年者への特定健康診査事業 ・40歳前勧奨事業
②生活習慣病の重症化予防	・早期介入保健指導事業 ・受診勧奨値異常未治療者への医療機関受診勧奨事業 ・糖尿病性腎症重症化予防事業 ・糖尿病治療中断者への医療機関受診勧奨事業
③フレイルの予防	・骨量測定及び保健指導事業 ・骨折・骨粗しょう症重症化予防事業
④適正服薬及びジェネリック医薬品使用促進	・後発医薬品使用促進事業 ・適正服薬支援事業
⑤ICTの活用による効果的かつ効率的な 健康情報発信	・健康管理アプリを活用した効果的かつ効率的な健康情報発信